

課コード	001701	作成日	平成21年8月28日
所属名	産業政策課	作成者	鈴木 博

事業名		戦略性	
地場産業振興事業			
事業概要			
目的	(対象、意図、求められる結果)	開始年度	終了予定年度
浜松地域の地場産業を、イベントや展示会などを通じ発表することで、技術向上を図るとともに、一般市民への関心を高め、消費の拡大を図ることを目的とする。		昭和 50年	年
活動内容【イン・プット】			
①地場産業振興支援事業（負担金） 静岡県繊維総合見本市開催、浜松ゆかた発表会開催、静岡県の伝統工芸品展開催			
②浜松ブランド構築支援事業費補助金 浜松地域の繊維業界の国際化や製品の高級化、販路拡大のための諸外国主要消費地で開催される見本市・展示会への参加支援等			
③モノづくり文化継承支援事業費補助金 浜松建具業組合等が実施する一般向けのモノづくり文化を継承する事業を助成する			
④地場産業振興イベント開催事業 本市の地場産業である繊維産業やオートバイ産業の振興を目的としてイベントを開催し、浜松のものづくりを全国に情報発信する ※平成20年度参加者実績 バイクのふるさと浜松 31,500人（平成20年8月30日～31日） 浜松シティファッションコンペ 850人（平成21年1月25日）			
事業の性格分類		実施根拠（法令、条例等）	
<input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的事業		新市建設計画事業	ワークショップ提案事業
事業運営方法		○	
<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等			

平成20年度のコスト【イン・プット】							
事業費(千円)		財源(千円)		職員人件費(千円)		8,800	
計	29,900	計	29,900	内訳	正規職員(人工)	1.1	
人件費	0	国庫支出金	0		非常勤職員(人工)	0.0	
扶助費	0	県支出金	0		再任用職員(人工)	0.0	
物件費	17,535	内訳	市債	0	年間経費(千円)		38,700
維持補修費	0		受益者負担金	0	受益者負担率(%)		0.0
補助費等	12,365		その他	0			
その他	0		一般財源	29,900			

定量評価							
指標1【アウト・プット】		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
地場産業振興イベント開催事業来場者数	目標	人	30,500	32,000	30,600	30,700	30,800
	実績	人	31,600	33,200			
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円	45,265	39,815	38,700	38,865	38,865

指標2		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	%					
	実績	%					
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円					

定性評価	
事業目的の達成状況	
浜松の地場産業を盛り上げるイベント・展示会等を開催もしくは支援し、企業や消費者、市民や全国の愛好家等に向けて本市のものづくりをアピールした。その結果、繊維製品を中心として新たな取引きにつながったほか、「綿製品の産地浜松」「注染染めゆかたの産地浜松」「バイクのふるさと浜松」が全国的により認知されてきている。	

## 内部評価の結果

(1)必要性				
<b>C 継続</b>	A 終了 B 廃止 C 継続			(理由) オートバイ産業や繊維産業を企業や消費者等に広くPRしてきたことにより、ものづくりマインドの継承や浜松の地場産業の活性化や認知度の増大に寄与した。
(2)実施主体				
<b>C 市</b>	A 民間(民営化) B 国、県、広域 C 市			(理由) 本事業は、地場産業の活性化を目的に、民間団体の取組みを支援したり、民間団体の自主的な協力を得て事業を行うものであり、引き続き、市が一定の役割を果たしていく必要がある。
(3)選択と集中				
<b>B 現状</b>	A 拡大(予算) B 現状(予算) C 縮小(予算)			(理由) イベント等の実施による地場産業の振興は、政策としての効果は間接的であるが、実施方法や事業内容に改善を加えながら、現状の予算でより効果が上がるように対応していく。
(4)改善				
<b>A 改善あり</b>	A 改善あり B 改善なし	<input type="checkbox"/> 一部廃止 <input type="checkbox"/> 一部民営化 <input type="checkbox"/> 非常勤化 <input type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 受益者負担 <input type="checkbox"/> 協働 <input checked="" type="checkbox"/> その他改善	(理由) 地場産業の振興を支援することは市の責務であるが、5年以上継続している事業もあり、事業効果の検証や改善を繰り返し、より効果的な事業となるよう、個々の事業の改善に努めた。例えば、「シティファッションコンペ」においては、作品制作において、浜松産綿素材の使用を義務付け、「バイクのふるさと」においては、地元パーツメーカーの出展を図った。
今後の事業展開				
今後の方向性				(理由)
<b>C 改善</b>	A 拡大 B 現状 C 改善 D 廃止			地域経済を支える地場産業を支援することは市の責務であり、事業効果の検証や改善を繰り返し、より効果的な事業となるよう努める。
今後の方向性を実現するための具体的取り組み(何をいつまでにどうするか)				
各事業とも、毎年度事業内容の改善に努め、より効果を高めていく。(補足シート参照) 全国・世界への情報発信、在京キー局への情報提供、積極的なPR、販売店との連携、ツーリングモデルコースの設定、通年の取組み等について積極的に取り入れ、より効果的な事業となるよう改善に努める。 イベント会場である総合産業展示館について、展示スペースや駐車場不足などが、イベントの充実にとって大きな課題であり、開催場所の検討も含めて、イベントのあり方を引き続き検討する。				
廃止できない理由(廃止した場合に想定される影響)				
各事業とも、静岡県ならびに県内関係市町からの補助・負担金を受け、もしくは民間団体・企業等の自主的な協力により実施しているものであり、廃止にあたっては、それら関係機関の意向とのすり合せが必要である。				

事業名	
地場産業振興事業	
活動内容に記載した事業名	一市多制度
地場産業振興支援事業(負担金)	

事業目的	浜松地域の地場産業を、見本市への出展やイベント開催を通じて市内外の企業や消費者に広くPRし、販路の拡大や新分野への進出を図る。
対象	中小企業団体等
内容	静岡県繊維総合見本市開催、浜松ゆかた発表会開催、静岡県の伝統工芸品展開催に対して負担金を支出した。 主な開催実績 ①静岡県繊維総合見本市「2009ハママツコレクション」(主催:(社)静岡県繊維協会 会場:東京ビックサイト) ・前期来場者数 1,365人 後期来場者数 765人 ・取引依頼件数 前期:807件 後期:194件 ②浜松ゆかた発表会(主催:(社)静岡県繊維協会、浜松ゆかた振興会、浜松市、(財)静岡県西部地域地場産業振興センター 会場:フォルテ) ・来場者数 7,128人 ③静岡県伝統工芸品展(主催:静岡県郷土工芸品振興会、(財)伝統的工芸品産業振興会 会場:遠鉄百貨店) ・本市の工芸品として「ざざんぎ織」が出展、「浜松注染そめ」についてはパンフレット及びパネルにより紹介した。 ・売上実績 計1,619,900円(ざざんぎ織:77,200円)
効果	首都圏等で行われた見本市への出展を支援した結果、繊維をはじめとする製品の取引につながった。また、メディアを通じたPRを積極的に実施したことにより、浜松産ゆかた・注染染めを中心に、本市の地場産業が改めて広く認知され、業界の士気の高揚につながった。

コスト(千円)	総額	人件費	扶助費	物件費	維持補修	補助費等	その他
	4,500	800	0	0	0	3,700	0

評価																
(1)必要性	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続															
(2)実施主体	<input type="checkbox"/> 民間(民営化) <input type="checkbox"/> 国、県、広域 <input checked="" type="checkbox"/> 市															
(3)選択と集中	<input type="checkbox"/> 拡大(予算) <input checked="" type="checkbox"/> 現状(予算) <input type="checkbox"/> 縮小(予算)															
(4)改善	<input checked="" type="checkbox"/> 改善あり															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="4">改善策</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 民営化</td> <td><input type="checkbox"/> 非常勤化</td> <td><input type="checkbox"/> 民間委託</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 受益者負担</td> <td><input type="checkbox"/> 協働</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> その他改善</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	改善策				<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 民営化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> 受益者負担	<input type="checkbox"/> 協働	<input checked="" type="checkbox"/> その他改善		<input type="checkbox"/> 現状		
改善策																
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 民営化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 民間委託													
<input type="checkbox"/> 受益者負担	<input type="checkbox"/> 協働	<input checked="" type="checkbox"/> その他改善														
<input type="checkbox"/> 現状																
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止															

具体的取り組み

本施策は、同じ団体が毎年実施する事業への経常的な経費負担となっていることから、個別の事業毎に事業内容を精査し、団体や業界の自立化がより図られる事業となるよう、改善を提案していく。

廃止できない理由

各事業とも静岡県ならびに県内関係市町が、補助金または負担金にて支援をしており、廃止にあたっては、それらの自治体の意向とのすり合せが必要である。

事業名	
地場産業振興事業	
活動内容に記載した事業名	一市多制度
浜松シティファッションコンペ開催事業	

事業目的	全国規模のファッションデザインコンテストを開催し、業界の一翼を担うデザイナーやアパレル産業の人材を市内外から広く発掘・育成するとともに、綿織物産地浜松を全国に情報発信することにより、本市を代表する地場産業である繊維産業の振興を目指す。						
対象	ファッションデザイナーを志望する専門学校生及び地元繊維業者						
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションコンペの開催</li> <li>・産地とクリエイターのマッチング・協働開発</li> <li>・展示紹介によるPR(コンペ開催時)</li> <li>・入賞者連絡会の運営</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募点数 6,059点(応募者数 2,183人)</li> <li>・来場者数 約850人</li> </ul>						
効果	ホームページによる情報発信や全国のファッション系の専門学校へ事業PRすることにより、地方で開催するコンテストの中では最多の6,000点を超える応募があり、綿織物産地浜松を全国発信できた。特に、デザイン画を応募する全国のファッションデザイン系専門学校には、浜松産地が強く認知されるに至っている。						
コスト(千円)	総額	人件費	扶助費	物件費	維持補修	補助費等	その他
	20,735	3,200	0	17,535	0	0	0

評価							
(1)必要性	<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 継続				
(2)実施主体	<input type="checkbox"/> 民間(民営化)	<input type="checkbox"/> 国、県、広域	<input checked="" type="checkbox"/> 市				
(3)選択と集中	<input type="checkbox"/> 拡大(予算)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状(予算)	<input type="checkbox"/> 縮小(予算)				
(4)改善	<input checked="" type="checkbox"/> 改善あり	改善策					
	<input type="checkbox"/> 改善なし	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 民営化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 民間委託		
		<input type="checkbox"/> 受益者負担	<input type="checkbox"/> 協働	<input checked="" type="checkbox"/> その他改善			
		<input type="checkbox"/> 現状					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 廃止			
具体的取り組み	<p>事業効果が、全国の専門学校生や学校関係者への参加の呼びかけによる産地情報の発信に留まっている状況を改め、地域の繊維業者が真に自立し、繊維産業の振興につながる事業へと内容の転換を図る。</p> <p>平成21～22年度は、ファッションコンペを縮小して継続し、その間、プロデザイナーと繊維事業者との協働による製品開発、ブランド化、自社販売の取組みを試行的に行うほか、ファッションコンペで培った大都市圏の専門学校とのネットワークを活かした新たな事業展開を研究する。</p> <p>平成23年度から、ファッションコンペに代わる新たな事業への展開を検討する。</p>						
廃止できない理由	<p>繊維産業の振興という目的の下、浜松産綿素材を活かしたファッションコンテストを一貫して実施してきた結果、全国的に「浜松シティファッションコンペ」の認知度が高まり、特に大都市圏の専門学生・学校関係者の浜松産テキスタイルに対する評価が高まっている。これが、これまでの最大の成果であり、事業を廃止するのではなく、これまで培った産地としての認知度や、専門学校とのネットワークを活かした新たな事業展開を目指す必要がある。</p>						

事業名	
地場産業振興事業	
活動内容に記載した事業名	一市多制度
バイクのふるさと浜松開催事業	

事業目的	浜松市は、我が国のオートバイ産業発祥の地であり、今日でも、スズキ、ヤマハ、ホンダなどオートバイ関連企業が多数立地する「バイクのふるさと」である。こうした特色を生かして、国内4大メーカーの協力のもと、全国のオートバイファンが集まる、浜松市ならではのイベント「バイクのふるさと」を毎年開催し、オートバイ文化や本市の魅力を発信するとともに、地元オートバイ部品メーカーによる展示や、子供向けバイク組立てイベントの開催により、地域の産業振興と次世代のものづくり人材の育成を図る。
対象	浜松市内外の大人、子供、オートバイファン
内容	①バイクの魅力を発信するイベントの開催 ・バイク展示コーナー…国内4大メーカーの新型バイクや過去の名車、モトGPマシンなどの展示 ・バイクフォーラム…著名人の参加によるツーリングやレースなどの楽しさを伝えるイベント ・自慢のバイク大集合…全国のライダーの愛車の陳列 ・バイクトライアルデモンストレーション…トッププロによるバイクトライアル競技の紹介 ②交通安全宣言バイクパレード…100人のライダーが交通安全を呼び掛けて市内をパレード走行 ③ツーリングイベント…市内の美しい景観や自然を楽しむことのできるモデルコースを設定 ④モノづくり企業展…完成車だけでなく、市内のオートバイ部品メーカーにスポットを当てた企業展示 ⑤子供バイク組立て体験コーナー…オートバイ愛好家の協力により、実際に工具を使ってミニバイクの組立てにチャレンジ
効果	平成20年度で6回目の開催となり、毎年の来場者数も3万人を超え(H20:31,500人)、本市を代表する産業振興イベントとして定着しており、全国各地からのリピーターも増えている。 平成20年度から、市内のオートバイ部品メーカーによる展示を開催し、オートバイの生産を支えるものづくりのまち浜松を一層アピールすることができた。

コスト(千円)	総額	人件費	扶助費	物件費	維持補修	補助費等	その他
	11,000	4,000	0	0	0	7,000	0

評価																
(1)必要性	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続															
(2)実施主体	<input type="checkbox"/> 民間(民営化) <input type="checkbox"/> 国、県、広域 <input checked="" type="checkbox"/> 市															
(3)選択と集中	<input type="checkbox"/> 拡大(予算) <input checked="" type="checkbox"/> 現状(予算) <input type="checkbox"/> 縮小(予算)															
(4)改善	<input checked="" type="checkbox"/> 改善あり															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="4">改善策</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 民営化</td> <td><input type="checkbox"/> 非常勤化</td> <td><input type="checkbox"/> 民間委託</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 受益者負担</td> <td><input type="checkbox"/> 協働</td> <td><input type="checkbox"/> その他改善</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	改善策				<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 民営化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> 受益者負担	<input type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> その他改善		<input type="checkbox"/> 現状		
改善策																
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 民営化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 民間委託													
<input type="checkbox"/> 受益者負担	<input type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> その他改善														
<input type="checkbox"/> 現状																
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止															

具体的取り組み

- ・本事業は、浜松市及び日本二輪車協会が負担金を支出し、国内メーカー4社の協力のもと、実行委員会形式で実施しており、毎回、内容の改善や工夫を重ねてきている。
- ・平成21年度は、浜松市負担金が減額となったため、事業の一部縮小や受益者負担の見直し等による対応を検討している。
- ・平成22年度以降は、予算の現状維持に努めるとともに、マンネリ化を未然に防ぐため、イベントの見直しを含む、新たな事業の展開方策について検討していく。

廃止できない理由

本事業は、日本二輪車協会と国内メーカー4社の協力のもと実行委員会形式で実施しており、来場者数も高水準で定着している。関係者からも、他都市ではマネのできない、浜松市ならではの特色あるイベントとして高く評価されており、市単独の判断で廃止することは難しい。

政策・事業外部評価結果報告シート

事業名	地場産業振興事業			
所管課名	産業政策課			
内部評価 (外部評価前)	方向性	理由		
	改善	地域経済を支える地場産業を支援することは市の責務であり、事業効果の検証や改善を繰り返し、より効果的な事業となるよう努める。		
外部評価	【採点結果】 4点満点			
	①事業の目的や内容が理解できたか	②事業の達成状況や効果が理解できたか	③内部評価の結果とその理由は妥当か	総合評価(平均)
	3. 5	3. 5	3. 2	3. 4
	【主な意見】			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7回目なのに初めて知った。もっとPRすべき。</li> <li>・ イベントに販売店の売上げが増加する方向性が含まれていると良い。</li> <li>・ 事業費 600 万円、二日で3万人の来場は素晴らしい。産業集積の特性を行政が活かすことは大切。「バイク」は浜松の貴重な地域資源なので、全国・世界への情報発信と、在京キー局への情報提供も必要。</li> <li>・ ツーリングコースにスズキやヤマハの展示施設が入っているのは良い。</li> <li>・ 単発のイベントではなく、年間を通じて「バイクのふるさと」を感じさせる取組が必要。</li> </ul>			
今後の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「バイクのふるさと」の見直しに向けて委員のご意見をお伺いしましたが、業界と連携した多彩なイベント内容や、毎年 3 万人を超える集客力、さらには他都市ではマネのできない浜松ならではのイベントとして、委員から高い評価と、引き続き内容の充実を図りながら実施していくべきとの意見をいただきました。</li> <li>・ 委員から提案をいただいた、全国・世界への情報発信、在京キー局への情報提供、積極的なPR、販売店との連携、ツーリングモデルコースの設定、通年の取組み等についても、積極的に取り入れ、より効果的な事業となるよう改善に努めてまいります。</li> <li>・ しかしながら、イベント会場である総合産業展示館については、展示スペースや駐車場不足などが、イベントの充実にとって大きな課題であり、開催場所の検討も含めて、イベントのあり方を引き続き検討してまいります。</li> </ul>			